

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年10月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月の前半は昨年度も開催した、「かわうち・まりん・びーちライトアップフェス」を開催したり、「むつグラマラスフェス」のお手伝いに参加したりとバタバタ忙しく、1日しっかりと休める日がほとんど無い状況であった。後半は11月開催の食育事業の準備を進めつつ、1日いっぱい休む日や、趣味である釣りや、漁師の手伝いなどを再開することで気持ちの切り替えをすることができた。今月末には、来年度むつ市で開催される「ジオパーク全国大会」の参考にするために、秩父で開催されるジオパーク全国大会に参加した。

（主な活動）

◇10月7日（土） かわうち・まりん・びーちライトアップフェス 2023

昨年開催した「かわうち・まりん・びーちライトアップフェス」をさらにグレードアップさせて今季も開催した。昨年は体験ブースの担当であったが、今年は飲食ブースのリーダーとして努めた。昨年を経験しているからと、スノーライトフェスで主担当を経験したこともあり、自分がどう動けば良いのかを考えながら動いた。

今年は約4000人のお客様が来場し、楽しんでいただけたようで、とてもよかったと思う反面、このイベントの継続を考えると少し難しい部分もある。協力隊でなくなった時に仕事時間以外でどのくらいできるのかなど、今後に向けて反省点を振り返る必要がある。

脇野沢でも同様のイベントを来年度、開催したいと考えているため、振り返りをしっかりと行い、次につながられるよう努めていきたい。

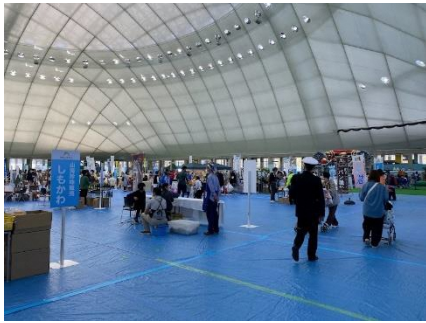


◇10月14日（土）15日（日） むつ市グラマラスフェスティバル お手伝い

13日（金）の午後から青年会議所の準備を手伝い、両日の朝5時に集合しテントを立て、準備、運営、片付けを手伝った。両日もふわふわ遊具で子供たちの安全管理を行った。

昨年もお手伝いとして参加しているが、1年経過したことでたくさんの繋がりができ、イベントでたくさんの人に声をかけていただいた。また、むつ市海と森ふれあい体験館に校外学習で来た子供たちも遊びに来ていて、声をかけられた。

この1年間でいろいろな人に自分の存在を知っていただけたことはとても嬉しいことであり、実際に会場で声をかけていただけたことは大変感謝している。また、子どもたちの安全管理はもちろん、準備や片付けでも自分がどう動けば良いのかなど予測して考えて行動できた。この成長を糧に、さらに成長できるよう、今後も大変な事業に積極的に取り組んでいきたいと思った。



◇10月27日（金）～30日（月） ジオパーク全国大会【秩父】出席

来年度、むつ市で開催される「ジオパーク全国大会」の視察のために、今年度ジオパーク全国大会を開催しているジオパーク秩父に行ってきた。開催前日の夕方に秩父に到着し、秩父の観光大使である林家たい平さんの座談会を聞いた。出身が秩父であること、小さい頃から慣れ親しんだ秩父の土地の話や祭りの話など大変興味深かった。次の日は開会式をし、貴重講話を聴き、午後に分科会、夜に交流会が行われた。分科会では「持続可能なジオツーリズムをどうやって作っていくか」というテーマでグループワークが行われ、とても面白かった。最終日は長瀬の川下りをしながら石畳の景観を見たり、ダムに行き秩父の河成段丘を見たりと秩父のジオパークを見学した。

今回、特に気にして見ていたのが、スタッフの動きと交流会である。現在、毎月1回程度、来年度の開催に向けた部会の会議がある。私が所属している「おもてなし部会」では、主に来客者の対応や交流会などをメインの役割として担っている。そこでどんな動きをしているのか、自分がお客様の立場でいてどんなことを思うのかなど考えながら見てきた。また、現地の協力隊で全国大会の役員として動いていた方と交流し、どんな準備をしたか、いつから何人で動いていたのかなど話を聞いてきた。

この視察でより一層楽しみになるとともに自分の役割を明確に意識することができた。今回の視察をもとに来年度開催される全国大会に向けて準備を進めていきたいと考える。



2. 翌月の活動予定

11月は次第に気温が下がり冬に突入する月である。脇野沢で初の開催となる事業の実施や、スノーライトフェスの準備、その他、仕事の増加が予想される。体調を崩さないように自己管理しながら、努めていきたい。

11月 5日 海峡ロデオ

11月15日 脇野沢食育事業の開催（19日、25日）